

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

たんげんのめあて

- 友達におもちやの作り方を教えるための「なるほどせつめいカード」を書く。

めあて

「なるほどせつめいカード」を書くための 学習計画を立てよう。

【学習計画ひょう】

時	学習すること
一	学習計画を立て、「しかけカードの作り方」と「おもちやの作り方」を読む。
二	文しょうの組み立てについてしらべぬ。
三	じゅんじよをあつむすてはを 見つげながら 読む。
四	数やしやしん・絵をつかてて せつめいしてはるを 見つげながら 読む。
五	アドバイス文()のまを 見つげながら 読む。
七六	「なるほどせつめいカード」を書く。
八	「なるほどせつめいカード」を読みあつ。
九	ほかの本を読む。学習せん体のゆかりをする。

【単元で学習すること】

- 教科書「しかけカードの作り方」で、せつめいのくふうを見つげながら読む。
- 教科書「おもちやの作り方」で、読み取った せつめいのくふうを生かして「なるほどせつめいカード」を書く。

【1 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート(「なるほどせつめいカード」書いてせつめいしよう) 本時のねらい

友達に作り方を教えるために『なるほどせつめいカード』を書くという目的をもたせ、学習計画を考えることで、学習の見通しをもたせる。

1 単元のめあてを設定する。

- 教師が用意した簡単な手作りおもちやを見て、作り方や遊び方について考えさせ、作りたい、遊びたいという意欲をもたせる。
- ※ 用意するおもちやは、最終的に児童が「なるほどせつめいカード」として書くことを考慮し、作り方が簡単なものを用意しよう。生活科の教科書(おもちや作りの単元)も参考になります。
- 単元のめあてを板書し、これから学習することへの目的意識や相手意識をもたせる。

2 本時のめあてを確認する。

- 「なるほどせつめいカード」を書く活動に向けて、学習計画を立てることを確認させる。

3 教材文を読み、学習計画を立てる。

- 教材文「しかけカードの作り方」と「おもちやの作り方」を読ませる。
- ※ 教師の音読を聞かせたり、デジタル教科書などを活用したりします。
- 「なるほどせつめいカード」を書くことに向けて、どんな学習が必要かを考えさせ、学習計画を立てさせる。
- ※ 上の板書計画の第一時目と第六時目(「なるほどせつめいカード」を書く活動)以降を先に提示し、「なるほどせつめいカード」が書けるようになるには、どんな学習が必要かを考えさせます。教師の板書に合わせて、ワークシートに記入させます。
- ※ 学習計画を児童と話し合いながら考えることで、学習の見通しをもたせることができます。また、毎時間の読みの目的もはっきりもたせることができます。

評価 「なるほどせつめいカード」を書くことに興味をもち、単元計画について話し合おうとしている。(関)

4 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

- 「なるほどせつめいカード」を書くという目標をもち、読み進めていくことをワークシート【学習計画ひょう】で確認させる。
- 次時は、「しかけカードの作り方」がどのような組み立てで書かれているかを学習することを確認させる。

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

作り方をせつめいしている文しよの組み立てについてしらべよう。

(「しかけカードの作り方」の本文全部または一部を提示するか、板書します。)

〈はじめの文〉

しかけカードを見たことがありますか。……。せつめいします。

〈ざいりょうとどうぐ〉

〈作り方〉

〈つかい方〉

【今日の学しゅうのまとめ】

- ・ 作り方をせつめいするとき、まとまりに分け、組み立てを考えて書く。
- ・ せつめいをする前に、そのおもちゃについてしよかいする文しよを書く。

【2 / 9時間目 指導路案】 使用するワークシート(「なるほどせつめいカード」書いてせつめいしよう)②

本時のねらい

作り方を説明している文章の構成に気付かせる。

1 本時のめあてを確認する。

- 学級に掲示している学習計画で本時の学習を確認させる。

2 教材文「しかけカードの作り方」の文章構成について考える。

- ワークシート②の問題に各自取り組ませる。
- ワークシートに書いたことを発表し合い、初めの文はしかけカードの紹介について書かれていることを確認させる。

- 「はじめの文」と〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈つかい方〉の項目から構成されていることを確認させる。

- ※ 〈 〉で括られている項目に着目させます。そこで、〈 〉で括られていない「はじめの文」があることに気付かせましょう。

3 教材文「おもちゃの作り方」の文章構成について考える。

- 「しかけカードの作り方」と同じ文章構成であることに気付かせる。
- ※ ここで、「書くこと」領域の教材文「おもちゃの作り方」でも同じ文章構成で書かれていることに気付かせます。「はじめの文」が簡略化されていることや〈使い方〉が〈作り方〉に変わっていることを確認させましょう。

評価 文章の組み立てに気付きながら読んでいる。

(読イ)

4 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

- 文章構成をつかませ、書く活動で参考にしていくことを、【今日の学しゅうのまとめ】で確認させる。
- 次時は、〈作り方〉の部分の説明の書き方を、順序を表す言葉に着目して詳しく読んでいくことを伝える。

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

じゅんじよをあらわすことばを 見つけながら
読もう。

クイズ

「しかけカードの作り方」の中から じゅんじよをあらわす
ことばを見つけてよう。

まず

大きい画用紙で、カードを作ります。

はじめに

さいしよに

つぎに

切ったところをしゃしんのようにおきます。

それから

色画用紙をひらきます

こんどは

小さい色画用紙で、しかけ台にはるかざりをつ
くりまます。

さいしよに

しかけの台に、のりでかざりをはります。

おわりに

そして

かざりの右はしを、台の右はしにそろえてはります。

【今日の学しゅうのまとめ】

- ・ じゅんじよを表すことばは、文のはじめにつける。
- ・ じゅん番をよく考えて使う。

【3 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート（「なるほどせつめいカード」書いてせつめいしよう）
本時のねらい

（作り方）の部分の説明するときは、順序を表す言葉を使って説明すると分かりやすい
ということに気付かせる。

1 本時のめあてを知る。

○ 学級に掲示している学習計画で本時の学習を確認させる。

2 「しかけカードの作り方」の中から順序を表す言葉を見付けるクイズを解く。

○ 本文中から順序を表す言葉を探させ、赤鉛筆で囲ませる。また、ワークシートにもその
言葉を書かせる。

○ 黒板には、児童が出した言葉を教科書に出てきた順番に並べ替えて板書していく。

※ 「すると」や「また」など文と文とを繋ぐ役割のある接続詞や「これで」というある部
分を指す言葉は、使うと効果的ですが、作業の手順を表す言葉ではないことを確認しまし
よう。

3 順序を表す言葉の使い方について整理をする。

○ それぞれの言葉の類義語を考えさせ、ワークシートに③に記入させる。

※ 類義語を文中にあてはめて読んでも、意味が変わらないことを確認させ、語彙数を増や
すようにしましょう。

○ 順序を表す言葉の「まず」や「はじめに」は、はじめの部分で使うこと、「さいしよに」や

「おわりに」は、終わりの部分で使うことなどを確認させ、ワークシートに記入させる。

○ 順序を表す言葉は、段落の一番はじめに書くこと、続けて同じ言葉を使わないことを確
認させ、ワークシートに記入させる。

4 「しかけカードの作り方」で学んだ順序を表す言葉の使い方を「おもちゃの作り方」でど
のように生かしているかを見つける。

○ 順序を表す言葉にサイドラインを引かせる。

○ 「まず」のかわりに、「はじめに」や「さいしよに」などを用いるなど、適切な言葉は複
数あることを確認させる。

評価 順序を表す言葉の重要性や多様性に気付きながら読んでいる。

（読ウ）

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

○ 順序を表す言葉を使うことで、分かりやすい説明になることに気付かせる。

○ 次時は、〈数字〉や〈絵・写真〉を用いた説明の工夫を詳しく読んでいくことを確認する。

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

数字や 絵・しゃしんをつかっている ぶぶんを見つねが 読み、よさを考えよう。

（「しかけカードの作り方」の本文全文または一部を提示するか、板書します。）

〈ざいりようどうぐ〉

・画用紙 二まい(大・小 一まいずつ)

〈作り方〉

まず、しゃしんのように切りこみを二本入れます。

切りこみの長さは、四センチメートル、切りこみと切りこ

みの間は、三センチメートルぐらいにします。

【長さや大きさ、おもさを表す言い方】

- ・つくえのたてくらの長さ
- ・小ゆびのつめくらの大きさ
- ・たまご一つ分くらのおもさ

【今日の学しゅうのまとめ】

- ・せつめいするときには、長さや大きさを数字をつかうとわかりやすい。
- ・文しゅうだけでなく、絵やしゃしんを見せるとわかりやすい。

【4 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート（「なるほどせつめいカード」書いてせつめいしよう）
本時のねらい

おもちゃの作り方の説明をするときは、数字や絵・写真を用いて説明すると分かりやすいということに気付かせる。

1 本時のめあてを確認する。

- 学級に掲示している学習計画で本時の学習を確認させる。

2 「しかけカードの作り方」の中から、数字を使って説明している部分を見付ける。

- 本文中から数字を使って詳しく説明している部分を見付けさせ、えんぴつで波線を引かせる。また、ワークシートにもその部分を書かせる。

3 数字や写真を用いて説明してある部分を全体で確認し、そのよさを確認する。

- ワークシートに書いた数字を使った説明の部分を発表させる。
- ※ 板書で、児童が発表した部分に波線を引いていきます。
- 写真を説明の補助として使っている部分を見付けさせる。
- ※ 文章のみで説明するのが難しい場合は、絵や写真を用いて説明すると分かりやすいということも確認します。
- 作業を説明するときには、数字や絵・写真を入れることで分かりやすくなることを伝える。

4 「しかけカードの作り方」で学んだ数字や絵・写真を用いた説明の工夫が「おもちゃの作り方」でも生かされているかを見付ける。

- 数字や絵・写真が用いられている部分に波線を引かせる。
- 数字の代わりに「つくえのよこの長さ」という表現があることに気付かせ、はっきり数字で表せない場合は、何かのものなどに例えて表現するとよいことを確認する。
- ※ 児童が持っている鉛筆や筆箱など、大きさがまちまちな物は、例えとしてふさわしいことを伝えよう。また、大きさや重さなども何かに例えて表現することができることも伝えよう。

評価 ・数字や絵・写真を用いることよさに気付きながら読んでいます。 (読み)

・数量を表す色々な表現の仕方を理解している。 (言い(ウ))

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

- 数字や絵・写真を用いることで、分かりやすい説明になることを確認させる。
- 次時は、気を付けることや使い方が書かれている部分を読んでいくことを確認させる。

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

作るときに気をつけることや 使い方を教える
書き方のくふうを見つけながら 読み、よさを考えよう。

「しかけカードの作り方」(本文か、その一部を提示するか、板書します。)

《作り方》
・・・じょうぎで、はかりましょう。

つぎに、・・・同じようにおります。こうすると、おったところに線がついて、後でかんたんにおし上げられるようになります。

こんどは、・・・かざりを作ります。かざりが大きすぎると、カードをとじたときに はみ出してしまいます。く略く(つかい方)
・・・人におくります。・・・カードにしてもいいですね。

① 「作るときに気をつけることの書き方」

・くします。こうすると・・・。
・おります。くはります。くおさえます。
・くしましょう。

② 「使い方を教える書き方」

・くおくります。いいですね。

【今日の学しゅうのまとめ】

・ せつめいするときには、作るときに気をつけることを書いたり、使い方を教えるように書いたりすると、わかりやすい。

【5 / 9時間目 指導路案】 使用するワークシート(「なるほどせつめいカード」書いてせつめいしよう) 本時のねらい

作るときに気をつけることを書いたり、使い方を教えるように書いたりすると分かりやすい説明になることに気付かせる。

1 本時のめあてを確認する。

○ 板書と学級に掲示している学習計画で本時の学習を確認させる。

2 作るときに気をつけることを書いている部分や使い方を教えている部分を見付ける。

○ ① 「作るときに気をつけることの書き方」の工夫点

○ 《作り方》の一つの文章を取り上げて、読み手に気をつけることとして実際に作業することが書いてある部分を見付けさせる。

○ 教科書の見付けた部分に線を引かせる。

○ 作業の指示をしている文の最後の部分の書き方に着目させるようにします。

○ 《使い方を教える書き方》の工夫点

○ 「使い方」の項目で、人に教えるように書いてある部分を見付けさせる。

○ 教科書の見付けた部分に線を引かせる。

※ 出来上がったものを実際に使うときに、人に教えるように書いてある部分に着目させるようにします。

3 作るときに気をつけることを書いている部分や使い方を教えている部分の特徴を確認する。

○ 線を引いた部分を発表させ、自分の見付けたところと合っているか比べさせる。

○ 友達の発表に付け加えなどをさせながら、指導者が拡大した本文に線を引いていきま

す。

○ 出し合った部分をワークシートに記入させ、どれも実際に作るときに分かりやすくするためのものであることを確認させる。

※ 上の板書計画のような書き方があることを確認しておきましょう。

4 「しかけカードの作り方」での書き方が「おもちゃの作り方」にどのように生かされているかを確認する。

○ 「おもちゃの作り方」の本文中から、作るときに気をつけることが書いてある部分や遊

び方が書いてある部分を見付けさせ、教科書に線を引かせる。

※ 共通した書き方があることに気付かせ、その効果を感じ取らせるようにしましょう。

評価 ・ 作るときに気をつけることを書いたり、使い方を教えるように書いたりすることのよさに気付きながら読んでみる。(読み)

・ 作るときに気をつけることや使い方を教える書き方を理解している。(言い(ウ))

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

○ 作るときに気をつけることや使い方を教える書き方をすると、分かりやすい説明になることを確認させる。

○ 次時は、実際に「なるほどせつめいカード」を書き始めることを伝える。

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

三つのせつめいのくふうをつかって、「なるほどせつめいカード」を書こう。

①じゅんじよをあらわすことばを使う。

② 数字や絵を入れる。

③ 作るときに気をつけることやあそび方を教える書き方をへらうする。

◆何について→はじめの文 ◆せりようどうぐ
↓かじょう書き

「なるほどせつめいカード」

【の作り方】

〈はじめの文〉
・・・をせつめいします。

◆何についてのせつめいかを書く。

〈せりようどうぐ〉
・・・

◆かじょう書き
② 数字や絵

〈作り方〉
はじめに、・・・
つぎに、・・・

①じゅんじよをあらわすことば
② 数字や絵
③ 作るときに気をつけること

おわりに、・・・

〈あそび方〉
・・・ですよ。

③あそび方を教える書き方

【6・7 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート(なるほどせつめいカード)書いてせつめいしよう⑥

本時のねらい ※ここに示す略案は2時間計画です。各学級で弾力的に取り扱ってください。

三つの説明の工夫を使って、「なるほどせつめいカード」を書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

○ これまで学習してきたことを生かし、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことを知らせる。

2 三つの説明の工夫を確認する。

○ 三つの説明の工夫を示したカードを黒板に提示し、次の三点について確認させる。

① 〈作り方〉を説明する文章を書くときは、順序を表す言葉を使うこと。

② 説明が伝わりやすくなるように、具体的な数値、簡単な絵を入れること。

③ 〈作り方〉では、作るときに気をつけることを入れたり、〈遊び方〉では実際に遊ぶときのことを書いたりすること。

○ 〈はじめの文〉では、何についての説明かをはっきりと書くこと、〈せりようどうぐ〉の部分は簡潔書きで書くことも合わせて理解させる。

3 「なるほどせつめいカード」を書く。

○ カードのレイアウトを黒板で示し、四つの項目に分けて書くことをワークシートで確認する。

○ 〈はじめの文〉、〈せりようどうぐ〉、〈作り方〉、〈あそび方〉の項目の書き出しの部分は一斉指導で書かせるようにする。

※ 作業が進まない児童には、あらかじめ順序を表す言葉を入れたワークシートを与えたり、実際におもちゃを触らせて確かめさせるなどの手立てを取るようにならしましょう。

評価・三つの説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。(書イ)

・ 順序を表す言葉を使って、つながりのある文章を書いている。(書ウ)

4 書いた文章を読み返す。

○ 「読むこと」で学習した三つの説明の工夫を観点として示し、書いた文章を読み返させ、付け加えた方がよい点や違う書き方をした方がよい点を見付けさせる。

○ 誤字脱字や改善するべき部分を見付けた場合は、書き直しをさせる。

評価・「しかけカードの作り方」の学習で学んだ表現を文章の中に生かしている。

(言イウ)

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

○ 説明の工夫を使って書くことができたかを振り返らせ、ワークシートに自己評価をさせる。

○ 次時は、友達と「なるほどせつめいカード」を読み合うことを伝える。

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

「なるほどせつめいカード」を読み合い、せつめいのくふうが書かれているか たしかめよう。

【読み合うときのポイント】

- ・ じゅんじよをあらわすことばをつかって 書いてあるかな。
- ・ 数字や絵をつかって 書いてあるかな。
- ・ 作るときに気をつけることやあそび方は、わかりやすく 書いてあるかな。

今日の学しゅうのすすめ方

- ① グループをつくる。
- ② 友だちが書いた「なるほどせつめいカード」を読む。
- ③ 「いいねメモ」をかいて、友だちにわたす。
- ④ 友だちからもらった「いいねメモ」を読んで、ワークシートにはる。
- ⑤ 自分が書いた「なるほどせつめいカード」を読み返す。

【8 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート（「なるほどせつめいカード」書いてせつめいしよう）

本時のねらい

「なるほどせつめいカード」を読み合い、説明の工夫を使って書いているか確かめさせる。

1 本時のめあてを確認する。

- 友達と「なるほどせつめいカード」を読み合い、分かりやすく書いているか確かめさせることを伝える。

2 「なるほどせつめいカード」を交流させる。

- 友達の「なるほどせつめいカード」を読む。
- 「しかけカードの作り方」で学んだ三つの説明の工夫を視点として見付けさせ、付箋に「いいねメモ」として書かせる。
- ※ 「いいねメモ」には、よいところをほめたり、気づきを伝えたりするように書くことを伝えます。

- ※ 一枚の「なるほどせつめいカード」を読んで「いいねメモ」を書くのに、八〜十分程度時間を取ります。慣れてきたら児童の様子を見て、時間を区切りましょう。

- ※ 付箋の大きさや、「いいねメモ」に書く分量は、児童の実態に合わせて考慮しましょう。ワークシートの大きさに合わせて付箋を準備しましょう。

- ※ 「いいねメモ」は、ワークシートの表の項目に添って整理して貼らせます。また、グループ内で読み合わせをさせましょう。

- 友達からの「いいねメモ」を参考にし、自分の作品を再度読み返させる。

評価 「なるほどせつめいカード」を読み合い、説明の工夫を使って書いているか、
確かめている。 (書ウ)

3 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

- 次時は、説明をしている他の本を読んで説明の工夫を見付けたり、単元全体のまとめをすることを伝える。

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

何かをせつめいしている本を 読んで、せつめいのくふうを見つけよう。

【ほかの本のしょうかい】

- ・「朝ごはんをつくらうー」
- ・「おりがみとあきばこでどうぶつえん」
- ・「てじなでだましっこ」
- ・「あやとり いととり」

【たんげんの学しゅうのまとめ】

- ◆せつめいのくふう◆
- ・じゅんじよをあらわすことばを つかう。
- ・数字や絵やしやしんを 入れる。
- ・気をつけることを 入れる。

【9 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート（「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう）
本時のねらい

事物を説明している本に関心をもち、説明の工夫に気付きながら読ませるようになる。

1 本時のめあてを確認する。

- 身の回りには何かを説明している本がたくさんあることを知り、関心をもちさせる。
- ※ 単元の最後のページに板書計画で挙げてある本が紹介されています。他にも適切な本をたくさん用意しておき、身の回りには、物語や図鑑の他に何かを説明している本がたくさんあることに気付かせましょう。

2 事物を説明している本を読む。

- 何かを説明している本を手にとらせ、説明の工夫を見付けながら読ませる。
- ※ 本は学級の人数に合わせて担任が用意しておくようにしましょう。学校図書館や地域の図書館を利用しましょう。
- ※ 教材文になかった説明の工夫にも気付かせるようにしましょう。
- 見付けた工夫を、ワークシートに記入させる。

評価 事物を説明している本に関心をもち、説明の工夫に気付きながら読んでいる。

（関）

3 単元の学習内容を振り返る。

- 「しかけカードの作り方」「おもちゃの作り方」の学習を通して、学んだことについて考えさせ、説明するときには順序を表す言葉や数字、絵、気を付けることなどを取り入れるとよいということを確かめさせる。
- 単元全体を振り返り、身に付いた力を踏まえて感想を書かせる。
- ※ 「説明」という言葉を使わせるようにしましょう。
- ※ できるようなったことや分かったことを中心に書くように指示しましょう。
- 他教科や日常生活でも、人に説明するときや説明する文章を書くときは、三つの説明の工夫（順序、数値や絵や写真、気を付けること）を意識するとよいことを伝え、活用を図るようになる。

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう①

二年)

めあて

「なるほどせつめいカード」を書くための 学しゅう計画を立てよう。

◇友だちに おもちやの作り方を教えるために、「なるほどせつめいカード」を作りま
す。分かりやすい せつめいにするために、どんなことを学しゅうしたら よいでしょ
うか。計画ひよりの あいているところに 学しゅうすることを 書きましよう。

【学しゅう計画ひよう】

時間	
一	学しゅう計画を立てる。
二	
三	
四	
五	
七六	「なるほどせつめいカード」を書く。
八	「なるほどせつめいカード」を読み合う。
九	ほかの本を読み、学しゅうぜん体のふりかえりをする。

◇今日の学しゅうを ふりかえりましよう。

(よくできた・・・◎ できた・・・○ もうすこし・・・△)

「なるほどせつめいカード」を書く かつどうに むかって
学しゅう計画を立て、これから 学しゅうすることが わかり
ましたか。

◎

○

△

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう①

二年)

めあて

「なるほどせつめいカード」を書くための 学しゅう計画を立てよう。

◇友だちに おもちゃの作り方を教えるために、「なるほどせつめいカード」を作ります。分かりやすい せつめいにするために、どんなことを学しゅうしたら よいでしょうか。計画ひよりの あいている時間に 学しゅうすることを 考えましょう。

【学しゅう計画ひよう】

時	学しゅうすること
一	学しゅう計画を立て、「しかけカードの作り方」と「おもちゃの作り方」を読む。
二	文しよの 組み立てについて しらべる。
三	じゅんじよをあらわすことばを 見つけながら 読む。
四	数やしやしん・絵をつかって せつめいしているぶぶんを見つげながら 読む。
五	アドバイス文(こつや気をつけること)を見つげながら 読む。
七六	「なるほどせつめいカード」を書く。
八	「なるほどせつめいカード」を 読み合う。
九	ほかの本を読み、学しゅうぜん体のふりかえりをする。

◇今日の学しゅうを ふりかえりましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○) もうすこし・・・△)	学しゅう計画を立て、これから 学しゅうすることが 分かりましたか。
	◎ ○ △

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう②

二年)

めあて

作り方をせつめいしている文しようの組み立てについてしらべよう。

◇きょうかしよを よく読んで、一と二のもんだいを かんがえましょう。

しかけカードの作り方

しかけカードを見たことがありますか。とび出すしかけ、・・・たくさん
のしゅるいの しかけカードがあります。

上のしやしんは、・・・このよう
なカードの作り方を せつめいしま
す。

へ イ へ

・色画用紙 二まい
(大・小 一まいずつ)
...

・じょうぎ

へ ウ へ

まず、大きい画用紙で、カードを作
ります。

.....

これで、しかけカードのできあがり
です。

へ エ へ

カードに絵や文をかいて、人におく
ります。たんじょう日カードや・・・
いいですね。

◇今日の学しゅうを ふりかえりましょう。

(よくできた・・・◎できた・・・○もうすこし・・・△)

「しかけカードの作り方」が 四つのまことに
わけて 書かれています。わかりましたか。

◎ ○ △

一 で かこんでいる ぶぶん
は、何について書かれていますか。つぎ
の文の **ア**に あてはまることばを 考
えて書きましょう。

しかけカードの

ア

二 上の 文しようの へイ へウ へ
へエ へに あてはまる ことばを
考えて書きましょう。

エ	ウ	イ

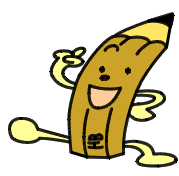
「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう③

二年)

めあて
じゅんじよをあらわすことばを 見つけながら 読み、よさを考えよう。

◇ 「しかけカードの作り方」の中から じゅんじよをあらわすことばを 見つけて、上のしかくの中に 書きましよう。

じゅんじよをあらわすことば	にているいみのことば



【じゅんじよをあらわすことばの つかい方】

○じゅんじよをあらわすことばは 文の) (に書く。

○ () をよく考えてつかう。

◇今日の学しゆうを ふりかえりましよう。
(よくできた・・・◎ できた・・・○ もうすこし・・・△)

じゅんじよをあらわすことばが どのように 書かれていますのかを 考えながら 読むことが できましたか。	◎	○	△
---	---	---	---

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう④

二年)

めあて
数字や 絵・しゃしんをつかって せつめいしているぶぶんを 見つ
けながら 読み、よさを考えよう。

◇「しかけカードの作り方」の中から 数字をつかって せつめいしてい
る ところを見つけて、ひょうの中に 書きましよう。

数字をつかっているところ					



【長さや大きさ、おもさをあらわす 言い方】

<ul style="list-style-type: none"> つくえのたてくらの長さ ・ ・

◇今日の学しゅうを ふりかえりましよう。

数字や 絵・しゃしんを つかって せつめいす ると わかりやすいことに 気づきながら 読むこ とができましたか。	◎ ○ △
--	-------------

(よくできた・・・◎ できた・・・○ もうすこし・・・△)

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう⑤

二年

めあて

作るときに気をつけることや、使い方を教える書き方のくふうを見つけてながら読み、よさを考えよう。

◇ 「しかけカードの作り方」の中から アドバイス文を見つけて 直線を引き、つぎのひょうに 書きましよう。

作るときに気をつけること
の書き方

使い方を教える書き方

- ・ はかりましよう

◇ 今日の学しゆうを ふりかえりましよう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○

もうすこし・・・△

せつめいするときには、作るときに気をつけることを書いたり、使い方を教えるように書いたりするとわかりやすいことに気づきながら読むことができましたか。

◎ ○ △

めあて
三つのせつめいのくふうを つかって、「なるほどせつめいカード」を
書こう。

◇せつめいのくふうをつかって、「なるほどせつめいカード」を 書きましょう。
〈はじめの文〉

○ 何についての説明かを簡単に書かせます。

〈ざいりょうとどうぐ〉

○ 一つ一つ 箇条書きで 書かせます。
○ 必要な数や量も 書かせます。

〈作り方〉

○ 順序を表す言葉を使って書かせます。

○ 大きさや長さを、数字を使っ
て書かせます。

※ 絵は、必要なところに
2～3つ入れさせる。

○ 作るときに気を付けること
は、どう書いたら分かりやすく
伝わるかをしっかり考えさせた
上で書かせます。
・(もし)くすると・・・
・こうすると・・・
・くしましょう。
・ですよ。
・ですね。
など

〈あそび方〉

○ 実際に遊ぶときの遊び方を書かせます。おもちゃ
を手に取らせて確認した後、書かせてもよいでし
ょう。

◇今日の学しゅうを ふりかえりましょう。

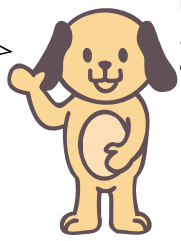
(よくできた・・・) ◎ できた・・・ ○ もうすこし・・・ △

か。三つのせつめいのくふうを つかって、「なる
ほどせつめいカード」を 書くことが できました

◎ ○ △

【たしかめましょう】

- できていたら、()に まるを つけましょう。
- ①じゅんじょをあらわすことばを つかっているかな？ ()
- ②数字や絵を 入れているかな？ ()
- ③気をつけることや あそび方は書けたかな？ ()



「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう⑥

二年

◇せつめいのくふうをつかって、 「なるほどせつめいカード」を 書きましよう。
 三つのせつめいのくふうを つかって、「なるほどせつめいカード」を
 書こう。

〈はじめの文〉

〈ざいりょうとどうぐ〉

〈作り方〉

〈あそび方〉

◇今日の学しゅうを ふりかえりましよう。

(よくできた・・・◎)できた・・・○ もうすこし・・・△

三つのせつめいのくふうを つかって、「なる
 ほどせつめいカード」を 書くことが できま
 したか。

◎

○

△

【たしかめましよう】

- できていたら、()に まるを つけましよう。
 ①じゅんじょをあらわすことばを つかっているかな？()
 ②数字や たとえた言い方，絵を つかっているかな？()
 ③アドバイス文を 入れているかな？ ()



「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう⑦

二年

めあて

「なるほどせつめいカード」を読み合い、せつめいのくふうが書かれているか たしかめよう。

◇ 友だちから もらった「いいねメモ」をせりりして はりましょう。

「いいねメモ」を はる

そのほか	気をつけることやあそび方	数字や・絵	じゅんじょをあらわすことば

◇ 今日の学しゆうを ふりかえりましょう。

(よくできた・・・◎ できた・・・○ もうすこし・・・△)

「なるほどせつめいカード」を読み合い、せつめいのくふうを使って書いてあるか たしかめることができましたか。

◎

○

△

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう⑧

二年)

めあて

何かをせつめいしている本を読んで、せつめいのくふうを見つけよう。

◇何かをせつめいしている本を読み、気づいたことを 書きましよう。

「しかけカードの作り方」と「おもちゃの作り方」で学しゅうしたせつめいのくふうを思い出してみよう。

Blank box for writing notes.

◇ 『「なるほどせつめいカード」を書こう』の学しゅうを おえての かんそうを 書きましよう。

Large yellow box with vertical lines for writing notes.

◇今日の学しゅうを ふりかえりましよう。

(よくできた・・・◎)できた・・・○もうすこし・・・△)

何かをせつめいしている本を 読み、せつめいのくふうを見つけることが できましたか。

◎ ○ △

どんなことが わかったかな。
なにができるようになったかな。

